

阿波女あきんど塾キャストが思う、徳島の未来

徳島で起業し、または経営を引き継ぎ、徳島と共に歩んできた阿波女あきんど塾の面々。30年の時を経て、実現できたこと、道半ばなコト。自社の夢やビジョンと同様に、他人ごとではない”徳島の未来”に、熱い想いを紡いできました。1年先も10年先も…徳島の元気の源はきっと、働き者の阿波女がしっかり支えているような気がします。



有限会社アン・モデルエージェント
代表取締役

青江 文

徳島市の理想の未来の実現に向けた基本理念の中に「多様な幸せを実現できるまちづくり」という言葉がありました。私自身もそれに似たコンセプトで事業を展開していることもあり、個性を活かした経験ができる場所や機会を作りながら、人材も育成することを意識しています。徳島市がそのような取り組みをしていくことが「住みたい！ 幸せ！」を実感でき、益々魅力的な“まち”になると思います。公私共に微力ながら実現するその一員でいたいと思っています。



株式会社クラッシー
代表取締役

植田 貴世子

株式会社クラッシーは、創業以来40年、育児・家事・介護支援サービスインフラを社会に配備することを通して、女性達が自らの可能性を信じ、前向きに一步を踏み出すお手伝いをしてきました。自らの事業の歴史と、女性の社会参画の歴史と、そして阿波女あきんど塾の軌跡が織りなす物語は、私の人生そのものでした。阿波女ならではの力で、徳島ならではの彩りを！ これからも、やわらかでしなやかな日々が続いていきますように。



一般社団法人 菜の菜
代表理事

榎本 峰子

これからの時代、女性の柔軟な発想や共感性、そして地域に根ざしたネットワークこそが、まちづくりや経済を動かす大きな原動力になると感じています。徳島は、自然人も温かく、チャレンジを受け入れてくれる土壌があります。この“人をつなぐ力”を強みに、世代や立場を超えて支え合えるまちにしていきたい。そして、中心市街地にも、もう一度人の流れと笑顔があふれるような“にぎわい”を生み出していきたいと思っています。私自身も、地域と共に歩みながら、次の30年につながる挑戦を続けてまいります。



株式会社 ひまわり
常務取締役

大岩 明代

徳島に生まれ育つ子供たちが、徳島でワクワクした人生設計を描けるような街づくりや人づくり、繋がりを創っていくよう、30周年を迎えた「阿波女あきんど塾」を通じた活動で少しでも力になっていけるよう、これからの30年に向かってキャストの一員として自分にやれることをコツコツとやっていきたいと思っています。



株式会社ハビリテ
代表取締役

太田 恵理子

阿波女あきんど塾が築いてくれた30年の歩みは、徳島の女性経営者を数多く輩出し、女性経営者率全国No.1という素晴らしい成果につながっています。昨年度、新たにメンバーに加えていただき、絆々たる皆さまと一緒にできたことは大きな学びであり、誇りです。先輩方が切り拓いてくれたこの道と想いを大切に受け継ぎ、次の世代へとバトンをつなぎながら、徳島から日本、そして世界へと希望の光を広げてまいります。



一般社団法人 うみのこころす
代表理事

川邊 笑

学生時代、何もないと思っていた徳島。しかし、帰郷し事業を始めて、人の温かさや隠れた可能性を日々実感しています。私は、子ども・若者の居場所と学び支援を通じ、誰もが自分らしく輝ける社会を徳島から創りたいと願います。地域のことも地域で育てる。地域に愛された経験が、将来地域を大切にすることができると増やします。徳島のこともたちが可能性を広げ、ひいては徳島全体がより活気に満ちた地域になることを願っています。



株式会社 北野商事
代表取締役会長

北野 多津子

あきんど塾に加入させて頂き、十数年が経ちました。1か月に一度キャストの皆様にお会いできることで、励まされ、自分も頑張ろうと奮い立ちます。どんなに忙しくても、徳島県、徳島市が良くなるように、女性の立場でお手伝いできることを毎回討論して、前向きに進んでおります。今後も阿波女の一人として、微力ではありますが、少しでも住み良い町、豊かな町、文化の町づくりに、お役に立てるように活動を続けたいと思っています。



株式会社 あわわ 会長/
株式会社 アニバ出版 代表取締役

坂田 千代子

徳島市の未来、それは阿波女が今よりさらに活躍できる街となっています。全国どこよりダイバーシティ推進先進である本市は、多様な人がその人らしい働き方ができていて、暮らしやすく子育てしやすい街です。この徳島モデルが話題となって、全国から若者が移住してきます。もちろん、女性社長比率は日本一、女性管理職比率も日本一を維持しているでしょう。そのまんなかに、阿波女あきんど塾のキャストの活躍があると嬉しいですね。



有限会社 ケイトップス
代表取締役

高岡 慶子

先日の30周年記念事業にご参加いただいた皆様の「徳島の未来への想い」をお伺いしながら感じたのは、個々人が持つ未来像がお互いに融合して進化すれば、初めに狙っていた以上の楽しい未来が展開するかもしれないという確信に近い期待でした。たとえ小さくても思い付きだとしても、徳島の未来を想う人々同士が話すことのできる機会を作り、何かの行動に繋げるきっかけ作りができればいいと考えています。個人的には、「徳島市の中心部に球技場を！」と20年以上前から本気で言い続けております。



モンドジャコモ 有限会社
代表取締役

高木 博代

私生まれ育ち、生きてきた新町地区商店街。その商店街が空洞化し始めたことに危機感を抱き、魅力のある街づくりを、とにかく一心不乱に走ってきました。パランスリョップや阿波踊り…人が集まること、みんなが元気に楽しくなることを考え、意見を聞き、行動あるのみでした。今はワークライフバランスは欠かせません。でも待っていても何も変わらない。誰かが、ではなく、私が、の思いがある人がいる限り、街も、徳島の未来も元気がつきます。私もまだまだ走り続けます。



株式会社 としまわ
代表取締役社長

高畑 富士子

徳島の未来、美しい、暮らしやすい街になってほしいと願う。子育てがとて楽しく、お年寄りも安心して暮らせるよう、みんながサポートしている街。中心街、住宅エリア、公園、ホールなどが、ほど良くミックスしてコンパクトにまとまっているのが理想。川や緑がたくさんあって目を楽しませる街。若い人々が働きがいのある仕事がたくさんあり、そして起業しやすくなる土壌が育っている街。そんな徳島になったらいいな。



株式会社 ココア堂
代表取締役

立川 真季

1995年、女性の社会進出を促進すべく「AWA おんなあきんど塾」は発足。以来、あきんど塾の活動も多様化してきました。変わらないのは、女性ならではのアイデアや知恵を惜しみなく発信し、ふるさと徳島を住んで楽しく、働いて輝ける「まち」にしたいと純粋に考え続け、それぞれのフィールドで行動してきたこと。それはこの先も変わることなく…今後も行政との良好なタッグのもと、阿波女あきんど塾へと進化していくよう楽しみに期待しています。



健康サポートサロン シェ・サトミ
代表

立木 さとみ

最近よく目にする「ウェルネス」「ウェルビーイング」という言葉。その健康観は、肉体だけでなく精神や経済の健康、ネットワークづくりやふれあいづくりまで広範囲に及びます。これは《女性性》の、さらに言えば《阿波女》の得意分野ではないでしょうか。自分や大切な人たちのためにキラキラ働き、その波紋を重ね合いながら広げていく…そんな徳島の未来を、阿波女の一人として、みなさんと一緒に作ってほしいと思います。



オーケテュール 板東
代表

板東 美千代

大好きな徳島で暮らし、仕事が出来ている事に幸せを感じています。今までの30年私なりに徳島が楽しい魅力ある町になる様盛り上げてきました。新町川を舞台にファッションショーをしたり、新町川を守る会での活動を通じて徳島の進化を共に見えてきました。これからも暮らしやすい豊かな時間が流れる町であってほしいと願っています。都会では味わえない身近にある自然の中での暮らしは最高の贅沢。これからも素敵な阿波女であり続けたいと思います。



株式会社 otocoto
代表取締役

元木 美咲

地元・徳島を女性の力で元気にしたい。阿波女あきんど塾は、挑戦する女性たちが支え合い、共に成長する場です。30年にわたりこの環境を守り続けてくださった先輩方に感謝し、私たちが次の世代へ「挑戦する心」をつないでいきます。阿波女として、母として、新しい時代を歩みます。

- 編集・発行
阿波女あきんど塾・徳島市
- 発行日 2026年1月20日
- お問い合わせ先
徳島市経済部経済政策課
徳島市幸町2丁目5
TEL.088-621-5225

30th Anniversary 阿波女 awa onna あきんど塾



30周年記念事業

- 第一部 シンポジウム
パネルディスカッション
「徳島市と語るこれからの阿波女あきんど塾」
- 第二部 グループワーク & 交流会
「本音でtalk! とくしまの未来」
- 阿波女あきんど塾 これまでの歩み
- 阿波女あきんど塾キャストが思う、徳島の未来

阿波女あきんど塾 30周年記念事業

日時 2025年10月20日(月)
18:00～20:30
会場 ザ・パシフィックハーバー

プログラム

第一部 シンポジウム

18:00- 開会
司会 / 大岩 明代
開会の挨拶 / 坂田 千代子
●チャーターメンバー挨拶
植田 貴世子
「これまでの活動の振り返り」

18:20- パネルディスカッション
「徳島市と語る
これからの阿波女あきんど塾」
パネリスト / 遠藤 彰良(徳島市長)
高畑 富士子・榎本 峰子
川邊 笑
モデレーター / 元木 美咲

第二部 交流会

19:00- グループワーク
「本音で talk! とくしまの未来」
司会 / 川邊 笑
14テーブルに分かれディスカッション
→代表5グループが発表(2分)

20:25- 閉会
閉会の挨拶 / 坂田 千代子



こあいさつ 30年の歩みと徳島の女性活躍

阿波女あきんど塾は、1995年、徳島市の呼びかけにより誕生した女性経営者の集まりです。以来30年間、徳島市の経済活性化のために、女性起業家育成や職場での女性活躍支援など、知恵と行動で様々な事業に取り組んでまいりました。特に、チャーターメンバーの植田貴世子さんと高畑富士子さんは、30年間ずっとその歩みを牽引していただきました。現在、女性社長比率全国1位(帝国データバンク2024調べ)、女性管理職比率全国1位(厚生労働省2025.3資料)など、徳島県の女性活躍が全国的に注目されていることに、阿波女あきんど塾は大きな影響力を発揮していると思います。この度の30周年事業では、遠藤市長や女性経営者の皆さんとともに徳島の明るい未来について語り合い、とても意義深い時間となりました。これからも阿波女あきんど塾は、徳島市と女性経営者が協働してアイデアを出し、地域の経済活性化に取り組んでまいります。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



2025年度リーダー
坂田 千代子



パネルディスカッション

●第一部
阿波女あきんど塾、30年の歩みとこれから
当日は来場者様とあきんど塾キャスト、徳島市役所の担当者を含わせて、約100名の賑やかな30周年記念事業となりました。第一部は、キャストの紹介からスタートし、本年度リーダーを務める坂田千代子(株式会社あわわ会長)より開会の挨拶で、会場内は一気に祝賀ムードに。続いて、あきんど塾結成からのチャーターメンバー、植田貴世子(株式会社クラッシー代表取締役)よりこれまでの活動を振り返りながら、「その歩みを誇りに未来へ」と力強く皆様に挨拶をさせていただきました。続くパネルディスカッションでは、モデレーター元木美咲(株式会社 cocototo 代表取締役)の進行により、遠藤市長とともに「阿波女あきんど塾が未来の徳島に何をもたらすのか?」などのテーマで侃々諤々、活発な意見が交わされました。パネリストには昨年度加入の榎本峰子(一般社団法人旅の葉代表理事)、本年度加入の川邊笑(一般社団法人うみのこてらす代表理事)、チャーターメンバー高畑富士子(株式会社ときわ代表取締役社長)が登場しました。

●第二部
みんなで語ろう! とくしまの未来
第二部はオーセンティアホールに会場を移し、14テーブルに分かれて本音 talk の始まり。ざっくばらんに意見交換している

ただけるよう、食事をしながらという演出。テーブルメンバーは入場時のクジにより決定。キャストがテーブルに一人ずつ着席、進行をサポートさせていただきました。乾杯のご挨拶は三木康弘氏(阿波製紙株式会社代表取締役社長)にお願いし、自己紹介をしたり、「徳島のこれから」について熱いトークが繰り広げられました。約40分、どのテーブルも大賑わい。ラスト5分で、各チームのリーダーが発表内容を用紙にまとめ、発表タイムへと移りました。

●多角度から徳島を見つめ、考え、期待する!
時間の都合で、ご発表いただけたのは5チーム。「川を活かしたまちづくりを」「阿波女をもっとブランドに」「自然の中で命の大切さを学べる環境があることを徳島の魅力にしている」「中心市街地の活性化→住居に商業の融合」「子育て環境とのバランスとルール化によって「かがやく人材」を輩出」「徳島県民のために、阿波おどり以外で、子育てとかインフラとか本気でやる」「川を核にして経済活性化のために街のにぎわいも創生する」など、積極的で前向きなまちづくり、地域経済の活性化を考える貴重なご意見がいただけました。最後に、あきんど塾全キャストから挨拶をさせていただき、坂田リーダーによる“徳島三本締め”で会を締めくくった後、ご来場いただきました皆様お一人おひとりに感謝の気持ちをこめて、キャスト全員でお見送りをして、無事お開きとなりました。



Event Report



新キャストからのメッセージ



榎本 峰子 (写真左)
これからの時代、女性の柔軟な発想や共感力、そして地域に根ざしたネットワークこそが、まちづくりや経済を動かす大きな原動力になると感じています。徳島は、自然人も温かく、チャレンジを受け入れてくれる土壌があります。この“人のつながり”を強みに、世代や立場を超えて支え合えるまちにしていきたい。そして、中心市街地にも、もう一度人の流れと笑顔があふれるような“にぎわい”を生み出していきたいと思ひます。私自身も、地域と共に歩みながら、次の30年につながる挑戦を続けてまいります。

川邊 笑 (写真中央)
徳島県牟岐町と徳島市で、子ども、若者の居場所・学び支援事業を運営しています。阿波女の真の強さとやさしさを感じています! 私も先輩方の大きな背中を追いかけ、地域に根ざした活動を頑張ります!

元木 美咲 (写真右)
阿波女あきんど塾の新メンバーとして参加できることを嬉しく思います。先輩方の想いを受け継ぎ、次の世代へ“挑戦する楽しさ”と“働く喜び”を伝え、地域に温かい循環を生む一員として歩んでいきます。

阿波女あきんど塾 これまでの歩み

- 1995 徳島市と女性経営者10名により、AWAおんなあきんど塾を発足
- 1996 シンポジウム「女性とビジネス」を考える」開催
女性起業家育成セミナー、ステップアップセミナー開催
ビジネスメッセ出展
女性が起業する際の金融支援を市へ提言し、女性起業家育成資金制度(全国初)がスタート
- 1997 シンポジウム「ビジネスを変える女性起業家とそのパワー」開催
女性起業家育成「たまごセミナー」開催
徳島ニュービジネスメッセ出展
起業家を育てる「メンター講座」開催
- 1998 女性起業家育成「フォローアップたまごセミナー」開催
メンター活動推進研究会設立5回開催
- 1999 女性起業家育成たまごセミナー&メンター講座」開催
女性起業家育成大会参加
- 2000 「オープンあきんど塾」5回開催
- 2001 「AWAおんな流あきんど成功塾」5回開催
- 2002 「話上るま産サロン」実施
- 2003 「くるま産サロン」2回開催
- 2004 「メンターになるよ!」講演会開催
「スポーツビジネスを通して地域経済再生」講演会開催
- 2005 出張講座「Work for joy 仕事って楽しい」開催
- 2006 出張講座「あきんど塾キャストと語ろう! 起業とこれからの地域経済活性化」開催
- 2007 第22回国民文化祭協賛事業「阿波おんな元気サミット」開催
- 2008 女性経営者のためのネットワークづくり
「あきんどネット ベちゃくちや問答塾」3回開催
- 2009 女性経営者のためのネットワークづくり
「あきんどネット ベちゃくちや問答塾」2回開催
あきんどネット発足
- 2010 「あきんどネット勉強会」開催
「きらめく女性大賞」創設 第1回を開催
- 2011 東日本大震災復興支援プロジェクト
①「チャリティイベント」開催
②「宮城・仙台復興応援物産市」開催
③「KIZUNAフェスティバル東北物産市」応援参加
「第2回 きらめく女性大賞」開催
- 2012 東日本大震災復興支援プロジェクト
「宮城・仙台復興応援物産市」開催
「第3回 きらめく女性大賞」開催
- 2013 「第4回 AWAおんなあきんど大賞(名称変更)」開催
- 2014 AWAおんなあきんど塾と一緒に学ぶ「フォローアップ勉強会」3回開催

1995年度 ▶▶▶ 2025年度 History

- 2015 阿波女あきんど塾 20周年記念シンポジウム開催
阿波女あきんど塾 20周年記念&『徳島の女性経営者100人に聞く』出版記念パーティ開催
- 2016 「社会人3年目の働く女子会〜仕事について話そう〜」開催
- 2017 阿波女あきんど塾事業「徳島市応援キャラバン隊」アンケート調査
四国大学 出張講座の実施
- 2018 「あきんど塾と言いたい放題」全3回開催
内閣府「女性のチャレンジ支援賞」を受賞
四国大学 出張講座の実施
遠藤彰良徳島市長へ提言の実施
- 2019 徳島市自主研究グループとの協議と遠藤彰良市長へ提案
大人の女子旅をテーマにした観光商品の策案(イーストしま観光推進機構へ提案)
徳島市立高等学校および四国大学 出張講座の実施
「女性社長のかばん持ち」プログラム参加
- 2020 運営会議に、内藤佐和子徳島市長を招いての懇談会開催
県外から徳島に移り住まれ、活躍されている女性お二人との意見交換会実施
「蜂須賀家の歴史と徳島藩最後の藩主 蜂須賀茂綱の功績について」勉強会開催
- 2021 「日本経済新聞から女性活躍推進について」取材
徳島市立高等学校 出張講座の実施
(株)ホーラ・オルビスホールディングスとの連携協定締結式
- 2022 徳島市立高等学校および四国大学 出張講座の実施
ダイバーシティ経営企業へ「女性活躍推進賞」を表彰(としまダイバーシティフォーラム内)
- 2023 徳島市立高等学校および四国大学 出張講座の実施
「第5回 阿波女あきんど大賞」表彰式開催(徳島市SDGs未来都市フォーラム内)
- 2024 徳島市立高等学校および四国大学 出張講座の実施
「第6回 阿波女あきんど大賞」表彰式開催(徳島市SDGs未来都市フォーラム内)
- 2025 徳島市立高等学校および四国大学 出張講座の実施
阿波女あきんど塾30周年記念シンポジウム・交流会開催

*「AWAおんなあきんど塾」は、20周年(2015年)を機に「阿波女あきんど塾」に表記が変更されました。